

特許協力条約

PCT

REC'D 17 NOV 2005

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

WIPO

PCT

（法第 12 条、法施行規則第 56 条）

〔PCT36 条及び PCT 規則 70〕

出願人又は代理人 の書類記号 PICA-16281	今後の手続きについては、様式 PCT/IPEA/416 を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2004/015254	国際出願日 (日. 月. 年) 15. 10. 2004	優先日 (日. 月. 年) 15. 10. 2003
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. ⁷ G06K19/07, H01P3/16, H04B7/26		
出願人 (氏名又は名称) 株式会社インテリジェント・コスモス研究機構		

- この報告書は、PCT35 条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。
法施行規則第 57 条 (PCT36 条) の規定に従い送付する。
- この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 5 ページからなる。
- この報告には次の附属物件も添付されている。
 - ☒ 附属書類は全部で 2 ページである。
 - ☒ 補正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙 (PCT 規則 70. 16 及び実施細則第 607 号参照)
 - ☐ 第 I 欄 4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙
 - ☐ 電子媒体は全部で (電子媒体の種類、数を示す)。
配列表に関する補充欄に示すように、電子形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。
(実施細則第 802 号参照)
- この国際予備審査報告は、次の内容を含む。
 - ☒ 第 I 欄 国際予備審査報告の基礎
 - ☐ 第 II 欄 優先権
 - ☐ 第 III 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
 - ☒ 第 IV 欄 発明の単一性の欠如
 - ☒ 第 V 欄 PCT35 条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
 - ☐ 第 VI 欄 ある種の引用文献
 - ☐ 第 VII 欄 国際出願の不備
 - ☒ 第 VIII 欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 15. 08. 2005	国際予備審査報告を作成した日 31. 10. 2005		
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号 100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号	特許庁審査官 (権限のある職員) 新川 圭二	5G	8623
	電話番号 03-3581-1101 内線 3526		

様式 PCT/IPEA/409 (表紙) (2005 年 4 月)

第I欄 報告の基礎

1. 言語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。

- ☒ 出願時の言語による国際出願
☐ 出願時の言語から次の目的のための言語である _____ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文
☐ 国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))
☐ 国際公開 (PCT規則12.4(a))
☐ 国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第 1-17 _____ ページ、出願時に提出されたもの
 第 _____ ページ*、 _____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ*、 _____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第 2-6, 8, 10-19 _____ 項、出願時に提出されたもの
 第 _____ 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの
 第 1, 7, 9 _____ 項*、15.08.2005 付けて国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ 項*、 _____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第 1-23 _____ ページ/図、出願時に提出されたもの
 第 _____ ページ/図*、 _____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ/図*、 _____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☐ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 _____ ページ
☐ 請求の範囲 第 _____ 項
☐ 図面 第 _____ ページ/図
☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____
☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

☐ 明細書 第 _____ ページ
☐ 請求の範囲 第 _____ 項
☐ 図面 第 _____ ページ/図
☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____
☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

* 4. に該当する場合、その用紙に“superseded”と記入されることがある。

第IV欄 発明の単一性の欠如

1. ☐ 請求の範囲の減縮又は追加手数料の納付命令書に対して、出願人は、規定期間内に、

☐ 請求の範囲を減縮した。

☐ 追加手数料を納付した。

☐ 追加手数料及び、該当する場合には、異議申立手数料の納付と共に、異議を申し立てた。

☐ 追加手数料の納付と共に異議を申し立てたが、規定の異議申立手数料を支払わなかった。

☐ 請求の範囲の減縮も、追加手数料の納付もしなかった。

2. ☒ 国際予備審査機関は、次の理由により発明の単一性の要件を満たしていないと判断したが、PCT規則68.1の規定に従い、請求の範囲の減縮及び追加手数料の納付を出願人に求めないこととした。

3. 国際予備審査機関は、PCT規則13.1、13.2及び13.3に規定する発明の単一性を次のように判断する。

☐ 満足する。

☒ 以下の理由により満足しない。

請求の範囲1-6に係る発明の特別な技術的特徴は「信号入力端子に接続された低域通過フィルタと、I/F入力端子に接続された高域通過フィルタと、を備えていることを特徴とするNRDガイドトランシーバ」に関し、請求の範囲7-8に係る発明の特別な技術的特徴は「データが直接書き込まれるDRAM又はHDDを有した携帯型のダウンロード用メモリ」に関し、請求の範囲9-19に係る発明の特別な技術的特徴は「サーバ用メモリと、サーバと、ダウンロード用メモリと、クライアントと、を備えたことを特徴とするダウンロードシステム」に関するものである。

これらの発明は、一又は二以上の同一又は対応する特別な技術的特徴を含む技術的關係にないから、単一の一般的発明概念を形成するように連関しているものとは認められない。

よって、本件国際出願の上記3組の請求の範囲に係る発明は、特許協力条約に基づく規則13に規定する発明の単一性の要件を満たしていないことは明かである。

4. したがって、国際出願の次の部分について、この報告を作成した。

☒ すべての部分

☐ 請求の範囲 _____ に関する部分

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、
それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性(N)	請求の範囲 1-19	有
	請求の範囲	無
進歩性(IS)	請求の範囲	有
	請求の範囲 1-19	無
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 1-19	有
	請求の範囲	無

2. 文献及び説明(PCT規則70.7)

文献1: JP 2000-59114 A (シャープ株式会社) 2000.02.25, 【図3】 ファミリーなし
文献2: JP 10-256903 A (株式会社村田製作所) 1998.09.25, 段落【0011】、【図1】 ファミリーなし
文献3: JP 2001-307161 A (松下電器産業株式会社) 2001.11.02, 全分、全図 ファミリーなし
文献4: JP 2003-87164 A (ソニー株式会社) 2003.03.20, 【図2】 ファミリーなし

請求の範囲1-6に対して 文献1, 2

文献1には、所定間隔をおいて平行配置された一対の導体板間に配置された一対の誘電体ストリップと、前記一対の誘電体ストリップの一方の一端に接続された発振器と、前記一対の誘電体ストリップの他方の一端に接続されたアンテナと、前記一対の誘電体ストリップの他方の一端に接続されたアンテナと、前記一対の誘電体ストリップの双方の各他端に接続されたショットキーバリアダイオードとを備えたNRDガイド受信機が記載されている。

文献2には、送受信フィルタを用いて送受信時に同一のアンテナを共用することが記載されている。

文献1に記載されたアンテナに文献2に記載された送受信フィルタを設けてNRDガイドトランシーバとすることは当業者にとり容易である。

請求の範囲7, 8に対して 文献3, 4

文献3には、ダウンロード用の携帯メモリが記載されている。メモリの種類としてDRAM、HDは周知である。

文献4には、インパルス通信部30と一次記憶部20とをI/F部を介して直接接続した通信装置が記載されている。

文献4の一次記憶部を携帯用とすることは文献3の記載から当業者が容易になし得るものである。

請求の範囲9-19に対して 文献3, 4

クライアント-サーバ型のダウンロードシステムは周知である。

第Ⅳ欄 国際出願に対する意見

請求の範囲、明細書及び図面の明瞭性又は請求の範囲の明細書による十分な裏付についての意見を次に示す。

1. 請求の範囲 1 等において、「信号入力端子」と「I F 入力端子」とはどの部分を指すのか不明であり、したがって、低域通過フィルタと高域通過フィルタと他の回路（素子）との接続関係が不明である。
2. 請求の範囲 7 において、「直接接続」の定義が不明瞭である。

- [1] (補正後) 所定間隔において平行配置された一対の導体板間に配置された一対の誘電体ストリップと、前記一対の誘電体ストリップの一方の一端に接続された発振器と、前記一対の誘電体ストリップの他方の一端に接続されたアンテナと、前記一対の誘電体ストリップの双方の各他端に接続されたショットキーバリアダイオードとを備え、さらに、
- 信号入力端子に接続された低域通過フィルタと、
- IF 出力端子に接続された高域通過フィルタと、
- を備えていることを特徴とする NRD ガイドトランシーバ。
- [2] 前記ショットキーバリアダイオードのマウントを一体で構成したことを特徴とする請求項 1 に記載の NRD ガイドトランシーバ。
- [3] 前記ショットキーバリアダイオードにバイアス電圧を印加するバイアス回路を併設したことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の NRD ガイドトランシーバ。
- [4] 所定間隔において平行配置された一対の導体板間に配置された一対の誘電体ストリップと、前記一対の誘電体ストリップの一方の一端に接続された発振器と、前記一対の誘電体ストリップの他方の一端に接続されたアンテナと、前記一対の誘電体ストリップの双方の各他端に接続されたショットキーバリアダイオードとを備えた NRD ガイド回路において、
- 信号入力端子及び回路終端に接続された 2 基の低域通過フィルタと、
- IF 出力端子に接続された高域通過フィルタと、
- を備え、前記回路終端に接続されたフィルタの出力端子に抵抗を接続したことを特徴とする NRD ガイドトランシーバ。
- [5] 前記ショットキーバリアダイオードのマウントを一体で構成したことを特徴とする請求項 4 に記載の NRD ガイドトランシーバ。
- [6] 前記ショットキーバリアダイオードにバイアス電圧を印加するバイアス回路を併設したことを特徴とする請求項 4 または 5 に記載の NRD ガイドトランシーバ。
- [7] (補正後) 受信手段に直接接続され、該受信手段によって受信されたデータが直接書き込まれる DRAM 又は HDD を有した携帯型のダウンロード用メモリ。

- [8] 当該ダウンロード用メモリに格納されたデータを順次送信するデータ伝送用送信手段をさらに備えたことを特徴とする請求項 7 に記載のダウンロード用メモリ。
- [9] (補正後) 伝送が可能なサーバ側送受信手段と、
大容量データを格納する DRAM 又は HDD を有したサーバ側メモリと、
クライアント側からの要求に従い前記サーバ側メモリに格納されたデータのうちの要求されたデータを前記サーバ側送受信手段から送信させる送信側制御手段と、
を有したサーバと、
前記サーバ側送受信手段から伝送されたデータを受信するクライアント側送受信手段と、
前記クライアント側送受信手段が受信した大容量データを直接書き込む DRAM 又は HDD を有したダウンロード用メモリと、
前記サーバ側にダウンロードすべきデータを指示するとともにダウンロードされたデータを前記ダウンロード用メモリに書き込ませる受信側制御手段と、
を有したクライアントと、
を備えたことを特徴とするダウンロードシステム。
- [10] 前記サーバは、前記サーバ側メモリに格納された大容量データをバックアップ用に格納する不揮発性の記憶手段をさらに備えたことを特徴とする請求項 9 に記載のダウンロードシステム。
- [11] 前記サーバ側送受信手段および前記クライアント側送受信手段は、ミリ波伝送の送受信を行うことを特徴とする請求項 9 または 10 に記載のダウンロードシステム。
- [12] 前記サーバ側送受信手段および前記クライアント側送受信手段の少なくとも 1 つは、NRD ガイドを用いた回路であることを特徴とする請求項 11 に記載のダウンロードシステム。
- [13] 前記ダウンロード用メモリが接続可能であり、該ダウンロード用メモリに格納されたデータを再生する再生装置をさらに備えたことを特徴とする請求項 9 に記載のダウンロードシステム。
- [14] 前記ダウンロード用メモリは、当該ダウンロード用メモリに格納されたデータを順次無線送信する無線送信手段を備え、